

（問題用紙 4枚中1枚目）

問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（解答は所定の解答欄に記入すること）

この部分は著作権の
関係で公開できません

受 験 番 号

（問題用紙 4枚中2枚目）

受
験
番
号

この部分は著作権の
関係で公開できません

注 ※現象学…一切の先入観を捨てて、意識に直接与えられる現象を観察し、その本質を分析しようとする学問。

(問題用紙 4 枚中 3 枚目)

受 験
番 号

問一 傍線部 (A)「カクトク」、(B)「ウンメイ」、(C)「アットウテキ」、(D)「ツネ」、(E)「コンキョ」のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

問二 傍線部 (a)「渦中」、(b)「襲(われ)」、(c)「窮地」、(d)「傍」、(e)「省察」の読み仮名をそれぞれひらがなで答えなさい。

問三 傍線部①「それ」の指す内容に当たる部分の最初と最後の五字を抜き出しなさい。

問四 傍線部②において示される「自己ではない何か」を象徴する語を本文中から漢字二字で抜き出しなさい。

問五 同じく傍線部②で筆者は、「自己との対話」がどのような場合に「自己を超えた何かとの対話」になると筆者は述べているか。本文に即して説明しなさい。

問六 傍線部③「沈黙は、語りの一つの形式である。」とはどのようなことか。本文の記述に基づき、沈黙がどのように語りとなるのかを簡潔に説明しなさい。

問七 傍線部⑤「いささか無理がある」と筆者が言うのはなぜか？何が「無理がある」のかを明確にしつつ、わかりやすく説明しなさい。

問八 傍線部⑥「向け」は、次の活用形のどれにあたるか。次のア～カから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問九 傍線部④「天を仰ぐ」⑦「虚空」の文章中における語句としての意味を答えなさい。

問十 傍線部⑧「いずれにせよ」は文の成分として、次のうちどれにあたるか。次のア～オから一つ選んで記号で答えなさい。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語 エ 接続語 オ 独立語

（問題用紙 4 枚中 4 枚目）

受 験 番 号

問十一

A

 から

C

 に入ることは次のどちらか。文章の流れを踏まえて、それぞれに入る言葉を次のア・イから選び、記号で答えなさい。

ア 虚空 イ 自己

問十二 看護において「見えない何か」との対話があるとしたら、あなたはどのような対話を考えるか。全体の内容を踏まえて説明しなさい。